

第 5 回支部執行委員会議事録（2018 年度第 2 回）

JCI 四国支部

1. 日 時 2019 年 2 月 5 日（火）15 時 00 分～16 時 50 分
2. 場 所 香川県生コンクリート工業組合 2F 会議室
3. 出席者 支部長：松島学 副支部長：甲斐芳郎
幹事：上田隆雄，金滝和彦，橋本親典，福原力，藤井禎，古田満広
横井克則
執行委員：小川浄，熊沢敬輔，新庄浩二，達富賢二，中川裕之，中村康一
林和彦，福山裕史，吉田秀典
検査役：堀井克章
本部理事：島弘
研究委員会報告者：全邦釘
事務局：新居宏美
- 計 22 名

4. 配付資料

- 資料 1 第 4 回支部執行委員会議事録（案） p1, 2
- 資料 2 2018 年度活動状況および今後の予定 p3～7
- 資料 3 参考資料（平成 31 年度 事業計画策定及び予算編成について） p8～10
- 資料 4 2018 年度収支決算（案），2019 年度収支予算（案） p11～14
- 資料 5 2019 年度事業計画（案） p15～18
- 資料 6 2019 年度支部執行部（案） p19
- 資料 7 平成 26 年度 第 2 回役員会議事録（幹事と執行委員の定数根拠） p20～22
- 資料 8 支部規程，支部執行部候補者推薦委員会規程 p23～27
- 資料 9 【別冊】参考資料

5. 審議事項

松島支部長より支部執行委員会開催に当たり挨拶があり，その後，各議題について審議が行われた。審議結果は，以下のとおり。

（1）第 4 回支部執行委員会議事録の確認（資料 1）

第 4 回支部執行委員会議事録（案）が確認され，支部 HP に掲載することが承認された。

（2）2018 年度事業報告および今後の予定について（資料 2, 9）

これまで実施した事業内容および 3 月末までの事業活動予定について事務局より説明がなされた。また，委員会活動および講習会については各担当者より説明がなされた。主な報告内容および審議結果等は以下のとおり。

① 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会（常設）

- ・ 松島委員長より 12 月 1 日に開催された委員会について、2018 年度モデル活動校である高知高専の近藤先生より活動の中間報告がなされたこと、2019 年度モデル活動校を愛媛県の高校とすることが確認されたこと、また、直近 3 年間ににおける工業系高等学校および高等専門学校からのコンクリート関連企業への就職者数調査結果が確認されたこと等が報告された。
- ・ 第 12 回コンクリート甲子園大会について準備全般を担当した新居氏より、予選会への参加がこれまで最も多い 28 校であること、北海道、関東からも参加され全国規模になりつつあること、本選を 12 月 8 日に香川工組で開催し 13 校により「強度」、「プレゼン」、「デザイン」の 3 部門と「総合」で競技されたこと等が報告された。

② 四国におけるインフラ維持管理新技術研究委員会（継続）

- ・ 全委員長より 2018 年度の活動および今後の予定が報告された。また、2019 年に成果報告会を開催することが確認された。
- ・ 成果報告書の番号を「JCI S-16」とすることが確認された。
- ・ 成果報告書印刷費用等の支部支出については、支部長に相談し対応することが承認された。

③ 四国の生コン技術力活性化委員会【第 4 期】（新規）

古田幹事長より、これまで委員会を 2 回開催し 4 県（グループ）のテーマが確定したと、3 月に 3 回目の委員会を開催することなどが報告された。

④ コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会（新規）

橋本委員長より、これまで開催した 2 回の委員会の審議結果と 3 回目の委員会を 3 月に開催予定であることなどが報告された。

⑤ 四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会（新規）

林委員長より、これまで開催した 3 回の委員会の内容等が報告された。また、委員会への参加者にオブザーバーが多い理由として、「産官学から広く参加者を募っているのがこの委員会の特徴である。所属機関などによっては委員となるには手続き上の困難が多い場合があり（特に公務員の方）、オブザーバーとして引き受けいただいている。活動内容として委員とオブザーバーの違いはない。」との説明がなされた。

⑥ 講習会・講演会・現場見学会

- ・ 各担当者より 2018 年度に開催した講習会・講演会・現場見学会について報告がなされた。
- ・ 生コンセミナー in 高知が 3 月 19 日に開催予定であることが古田幹事より報告された。
- ・ 他団体の講習会等への「共催」と「後援」について、2019 年度より以下のとおり対応する。

共催・・・開催に責務が伴うことから、「生コンセミナー」のみ共催（場合によっては主催）とすることを基本方針とする。

後援…土木学会四国支部等の他団体が主催する講習会等への協力については、原則として開催に責務を伴わない後援とする。ただし、後援費の支出は妨げない。

- ・ 共催、後援のどちらであっても支部より協力費を支出した場合は、収支報告書の提出を求め、事務局で管理する。
- ・ 2018 年度に開催した「次世代のコンクリート構造物の劣化診断に関する特別研究委員会の成果報告会（主催）」および「第 9 回コンクリート研修会 i n 高知（共催）」の収支報告書の提出を要請する。

（３）2018 年度収支決算案について（資料 4）

12 月までの確定決算および 3 月までの見込み決算について事務局より説明がなされ、次期繰越金が約 28 万であることが確認された。また、講習会に関し支出があるのに収入が 0 になっていることについて説明が必要であり、「有料の講習会がなかった」ことを備考欄に記載することが確認された。

（４）2019 年度事業計画案および収支予算案について（資料 3～5, 9）

事務局より 2019 年度事業計画案および収支予算案の概要について説明がなされた。また、研究委員会、講習会および現場見学会の詳細については担当委員より説明がなされ、承認された。主な承認事項等は以下のとおり。

- ・ 研究委員会 4 件（常設 1 件、継続 3 件、新規 0 件）が承認された。
 - ①「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」【常設】
委員長：甲斐芳郎（高知工科大学）…四国支部長が担当
 - ②「四国の生コン技術力活性化委員会【第 4 期】」【継続】
委員長：島弘（高知工科大学）
 - ③「コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会」【継続】 委員長：橋本親典（徳島大学大学院）
 - ④「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」【継続】 委員長：林和彦（香川高等専門学校）
予算は、1 件 20 万円の計 80 万円とする。
- ・ 講演会・講習会 9 件が承認された。また、後援事業である第 10 回コンクリート技術研修会を追記することが確認された。
- ・ 生コンセミナー i n 徳島の主催を JCI 四国支部とし、徳島県生コンクリート工業組合を共催とする。
- ・ 現場見学会は、総会時に概要が報告できるよう国土交通省四国地方整備局直轄工事で検討し、10 月～11 月に開催する。

（５）2019 年度四国支部執行部について（資料 6, 7）

各委員に任期後の執行部継続の是非について確認した結果、2019 年度支部執行部が承認された。主な承認事項は以下のとおり。

- ・ 支部長の交代：松島学 ⇒ 甲斐芳郎
- ・ 副支部長の交代：甲斐芳郎 ⇒ 橋本親典
- ・ 支部幹事：副支部長就任により橋本幹事が退任し、松島支部長が支部幹事に就任する。
- ・ 検査役は変更なし。
- ・ 本部理事は変更なし。
- ・ 支部執行委員を以下のとおり 2 名追加し、支部幹事と併せ 25 名体制とする。また、支部幹事と支部執行委員の定数（上限）を 25 名と定めた平成 26 年度第 2 回役員会議事録を確認した。

岡崎慎一郎（香川大学）、渡邊健（徳島大学）

（6）本部理事会の報告について

島本部理事より以下のとおり報告がなされた。

- ・ 年次大会還元金の活用期間（消費期限）が 3 年から 8 年に延長された。
- ・ 2020 年のコンクリート診断士講習会から e-ランニング方法を採用し、経費削減に努める。

以上

（記録者：古田 満広）